

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年前期	2	2	選択
担当教員			
林 章浩			
添付ファイル			
講義概要			
経営学は、組織のマネジメントについて総合的に解明する学問である。本講義では、最初に経営学の歴史と社会の中での経営学の位置づけを理解する。次に、外部環境への対応として、事業領域と競争の戦略について学ぶ。その後、組織内部への対応として、組織構造、社員のインセンティブ、リーダーシップなどについて学ぶ。最後に、組織の矛盾と発展について説明する。この科目は、マネジメントメソッド分野の実務経験のある教員が担当する科目である。			
授業計画	1	経営学ガイダンス 自己紹介、授業の進め方	
	2	環境のマネジメント コーヒーチェーンの事例	
	3	環境－競争優位 戦略とは？競争の戦略と事業範囲の戦略	
	4	事業構造の戦略スライド 組織は戦略に従うvs戦略は組織に従う	
	5	国際化戦略－スライド 企業の国際化の動機、グローバル化の事例	
	6	制度の選択スライド 組織論の話	
	7	組織のマネジメント 個人と組織と管理のレベルの基礎概念 組織構造の選択とトレードオフ	
	8	インセンティブ マズローの欲求段階説、インセンティブと人事考課	
	9	リーダーシップ フォロワー（Follow Me!）と岩陰闇將軍	
	10	組織のダイナミズム 戦略と資源の不均衡ダイナミズム	
	11	ビジネスモデルの考え方 儲ける仕組み デルモデルの事例	
	12	中期経営計画スライド 管理とコントロールシステム、中期経営計画	
	13	経営戦略を立案する手順 経営戦略の作り方	
	14	企業マネジメントにおけるリスク管理 BCPとリスク管理	
	15	明日の日本式経営の姿 全体の振り返り	
授業形態	・原則として座学の講義を行う。授業の流れによっては課題・プレゼンテーション・ディスカッションを行うこともある ・毎回レジュメを配布するので、必要に感じたことはメモしてほしい。 ・毎回配布するレジュメを必ず一回復習すること ・AL授業中に毎回「クイズ」を出して何人かに発表を求める。AL時間は約15分毎に一度行う - AL①12回、AL②12回、AL③なし、AL④なし、AL⑤なし、AL⑥なし		
達成目標	・現代経営に至った経営学の歴史的発展を理解する。 ・経営学をプロセスとして理解する ・大学院で経営戦略論を受講するための基礎講座として、経営学の基礎を理解する。		
評価方法・フィードバック	・授業内評価として、数回の演習問題40%、受講態度20%、クラスへの貢献度20%、的確な質問20%で、総合的に評価する。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。		
評価基準	・「秀」：90点以上、「優」：80～89点、「良」：70～79点、「可」：60～69点、「不可」：59点以下 - 試験は実施せず、レポート2枚の提出を求める。その内容により優一可を評価する。 - 特出している成績も場合は秀とする		
教科書・参考書	・教科書 なし ・参考文献 なし		
履修条件	なし		
履修上の注意	まずは講義を理解できる必要がある。その上に、調査・学習・復習が重要		

準備学習と課題の内容	・本講義ではテキストを指定する代わりに、教科書に相当する内容をレジュメとして配布する。毎週3時間程度の時間をかけて、配布したレジュメを必ず読み返しておくこと ・毎日、日経新聞の左面の記事を全て読むことを勧める。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:30%, 思考・判断:10%, 関心・意欲:10%, 態度:20%, 技能・表現:30%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	